太田地区 OHDA

地域活動の活性化に向けたワークショップ

VOL. 01

ニュースレター

令和5年 11 月

発行：茨木市市民文化部地域コミュニティ課

太田地区では、「太田の魅力をもっと高めていく、地域活動のあり方を考えよう！」をメインテーマに、地域の更なる活性化を目指して、全3回のワークショップを実施しています。令和5年 10 月 14 日（土）に開催した第1回のワークショップでは、6つのグループに分かれて2つのワークを行いました。

ワーク 1　太田地区の魅力と課題を見つけよう！

ワーク1では太田地区の地図を見ながら、太田地区の魅力と課題を出し合いました。各**グループでたくさんの魅力と課題が出され、模造紙が付箋で埋まるグループもありました。**

「大型スーパーもあり利便性が高い」「治安がいい」「子育てしやすい」などの意見が各グループで共通して魅力としてあがり、**「地域の担い手をどう増やすか」「通学路が危険」「世代間のギャップがある」「IT 化が遅れている」**といった意見が共通した課題としてあがりました。

第１回　実施概要

日　　時：2023.10.14（土）
19:15～21:15
会　　場：太田公民館
参加者数：３５人

プログラム

１：会長挨拶
２：ワークショップ趣旨説明
３：参加者自己紹介
４：最近あった、良かったこと・悪かったこと　（アイスブレイク）
５：ワーク①：太田地区の魅力と課題を見つけよう
６：ワーク②：太田地区がもっと楽しくなる未来を考えよう
７：グループ発表（全体共有）

ワーク 2　地域の将来について考えよう！

ワーク2では、ワーク1の議論を踏まえて、**①魅力を磨いてもっとこんなまちにしたい②課題を解決してこんなまちにしたい**、という意見を出し合い、**地域の将来がどうなったらいいか、どうなって欲しいか**を考えました。

○各グループの話し合い内容（抜粋）

グループ	魅力	課題	将来
1	○班会をやっていろんな意見を吸い上げている！ ○子育てしやすいまち ○スポーツの場がある	○高齢化 ○見守りの負担 ○ちょっと立ち寄れる場が少ない ○IT 化が遅れている	○小学校の見守りに保護者と地域の先輩（高齢者）の方と連携してできれば ○小さなイベントを増やす ○あいさつをする、声をかけるなど、やさしい気持ちを育む ○通学路の安全確保 ○子どもの集いの場が必要 ○地域活動の IT 化
2	○公園が多い ○太田神社、地蔵盆、西国街道などの歴史 ○子ども会が多い	○高齢化、人手不足で情報伝達ができなくなってきている ○暗い道が多くて防犯面の懸念 ○若い人があまり入ってこない地域がある	○担い手の若返りを図りたい ○若い人が気軽に発言できる環境にしたい！ ○子どもが集まれる場が欲しい
3	○治安が良い ○安威川が近く自然が多い ○太田知恵の和で話し合う場がある	○若い世代は忙しく、地域のことを考えたくても考える時間すらない ○自治会活動の人手不足 ○集まるのが大変 ○子どもの見守り活動を朝にしており、昔は帰りの夕方もあったが、今は無いので心配	○誰でもできるスリム化が必要 ○顔の見える関係が必要 ○帰り道も子どもの見守り当番ができるといい ○配布資料を LINE でもらえたら
4	○大型スーパーがあり便利 ○自然が多い ○歴史がある ○学生街になった	○コミュニケーションを取る場が少ない ○自治会に加入してもらえない	○世代交代が必要 ○住みやすいまちでありつづけて欲しい ○デビューしやすいタイミングをつくる
5	○子育て環境がよく住みやすい ○通安協で通学路の安全を見ている ○商業施設があって生活がしやすい	○子ども会がなくなった ○自治会の役員、担い手不足	○世代間交流をしていきたい ○担い手・地域活動のスタイルは、今の時代にあったカタチを考えていきたい
6	○西国街道などの歴史がある ○マンションなどで人が増えてきている ○学校が多く活気がある	○地域活動に対して参加者が減少している ○新しく入って来る若い世代と昔から住まれている方の地域活動に対する考え方のギャップ ○ゴミ出しなどのマナー	○地域の施設や事業者とも課題などを話し合う場があるといい ○やりたい活動のアンケート調査、自治会活動のマニュアル化など

次回ワークショップは 11 月 11 日（土）。まちづくりの専門家をゲストに招き、
事例紹介や話題提供をいただいた上で、アイデアを深めていくワークショップを行います。